

地元産野菜が入ったカレーに舌鼓

薄市小に「給食おもしろい隊」が訪れ会食

野菜を安価で学校給食センターに提供している「給食おもしろい隊」(隊長 佐藤イネ子)のメンバー8人のうち4人が8月24日(金)に薄市小学校を訪れ、6年生12人が一緒に給食を食べました。この日の献立は、中泊町産野菜を使った夏野菜カレーで、町内4小学校へ提供されました。隊員の加藤琢磨さんは「作った野菜を目の前で食べてもらう機会はなかなかないので励みになる」と話し、児童たちの食べっぷりから元気をもたらしたようです。



交通安全を呼びかける

交通安全青森県キャラバン隊、知事メッセージ伝達

交通安全青森県キャラバン隊が8月30日(木)に中泊町を訪れ、濱館町長に三村知事からのメッセージを伝達しました。県交通安全母の会連合会(豊川幸子会長)が主催する「第8回みんなですすめよう交通安全キャラバン隊」のキャンペーンの一環で、青森市で出発式を行ったあと、2日間かけて津軽地方2市5町で交通安全指導を展開しました。

中泊町では知事のメッセージ伝達後、中里こども園を訪れ、警察やJAFとともに交通安全指導をしました。

津軽鉄道で体験型クイズ!?

「クイズ!案山子deア・モーレ」が開催中です

津鉄アモーレでは、「クイズ!案山子deアモーレ」と題し、かかしを車窓から見て答える体験型クイズを実施中です。出題される案山子は、津軽半島観光アテンダントと津鉄ア・モーレが合同で制作したもので、津軽鉄道沿線のどこかに設置されています。

応募用紙は津軽鉄道の列車内に用意されており、クイズ正解者には抽選で津軽鉄道グッズが当たります。ぜひ参加してみてください。

クイズ!案山子deア・モーレ

津軽鉄道の駅(5ヶ所)に設置されている案山子。よく見ると、いろいろな表情、いろんな恰好をしています。さあ、皆さん。車内の本欄前に、この案山子にまつわるクイズを用意しました。チャレンジしてみませんか?

正解者の中から抽選で35名の方に、津軽鉄道グッズをプレゼント!!
車内から目を凝らして、よく見て…さあ、クイズに答えて津軽鉄道グッズをGetしよう!!

応募締め切り:
平成30年10月19日(金)

応募用紙に必要事項をご記入の上、車内のアテンダント、もしくは機関士へお渡しください。当選は商品の発送をもって発表にかさせていただきます。

主催:津鉄ア・モーレ 〒037-0392 中泊町大字中屋字紅葉坂209
☎0173-57-2211(内2016) ☎0173-57-3849
後援: NPO法人津軽半島観光アテンダント推進協議会
津軽鉄道株式会社

広告

HONDA 除雪機 ご予約受付中

早得3年補償
早期購入キャンペーン実施中
2018年11月30日まで
2つの補償が、もれなく3年間つきます!

ファミリーマート 国道339号
金木自動車学校
ホンダドリーム 五所川原
ホンダドリーム 五所川原
除雪機のことならホンダスノーショップへ!
ホンダドリーム五所川原
青森県五所川原市金木町菅原433-4
TEL 0173-52-4737

乗って応援!!		津 軽 鉄 道
平成30年度 目標乗車人数	300,000人	
速報!! 4月~9月分の 乗車人数	96,033人	
目標まであと……	203,967人	



ド婚、金婚を迎えた人へ顕彰状が送られました。敬老会のあとに芸能発表会も開かれ、歌や舞踊を楽しんでいました。

みんなで長寿を祝う

パルナスで敬老会開催

長年にわたり、社会にご尽力された高齢者の長寿を祝う敬老会が9月15日(土)にパルナスで開催されました。長寿のお祝いのほか、高齢者が自らの生活の意欲を高め、社会参加・生きがいなどの高揚を図り、ふれあいと活力のある長寿社会の形成を目的としています。この日は、濱館町長から88歳長寿、ダイヤモンド婚、金婚を迎えた人へ顕彰状が送られました。敬老会のあとに芸能発表会も開かれ、歌や舞踊を楽しんでいました。

ハマならではのまつりで賑わう

第5回活ハマまつり開催

若手漁師たちによって組織される活ハマクラブ(代表宮下一也)が、5回目の開催となる活ハマまつりを9月16日(日)に開催しました。

町内外からたくさんの親子連れや観光客が訪れ、ステージ発表や早食い競争、無料振る舞いやクルージングなどを楽しみました。

この日は、北海道新幹線奥津軽いまべつ駅と津軽鉄道津軽中里駅を結ぶ二次交通バス「あらま号」を利用した「あらま号で行く小泊・市浦周遊活ハマまつりツアー」に参加した17人も訪れ、まつりを楽しみました。



カキ氷早食い競争

万が一の時、迅速な対応のために

災害時の建築物解体・撤去の協定を締結

一般社団法人青森県解体工事業協会津軽支部と中泊町は、災害時における建築物等の解体撤去に関する協定を9月10日(月)に結びました。

県解体工事業協会は県内の解体工事業者で構成される団体で、協定によって災害時の復旧活動の支障になる建築物の解体や廃棄物の撤去の要請ができます。濱館町長は「町内には被災する可能性のある地域が多い。万が一の時にはお力をお貸しいただきたい」と協力を求めました。

津軽支部の工藤支部長は「いつでもどこで大きな災害が起こるかわからない時代。中泊町から要請があった場合にはすぐ対応できるようにしたい」と話しました。



もう、読みましたか？ あおもりおまもり手帳

広報なかどまり9月号と一緒に配布した「あおもりおまもり手帳」は、地震や風水害、原子力災害への対処をまとめた防災ハンドブックです。

防災情報だけでなく、災害発生時や避難生活乗り越えるための情報が、具体的に記されています。食糧の備蓄量や持ち出し品のリストもあるので、今一度、災害対策を確認しましょう。

